

# 議会広報紙の調査

広報編集 福岡県那珂川町・大刀洗町 1月17～18日

視察先

福岡県那珂川町

調査目的

議会広報紙校正の作成について

常任委員会となっております。笑顔の表紙で入賞している。

1回の作成において、委員会を6回開催し半日の出金を基準としている。

一般質問について

原稿は締め切りを、厳守している。

・文章は600字以内で1人1ページの掲載。

・特集で私たちの町の団体紹介を行っている。

・一般質問者の議事録は、粗原稿が1週

間で上がるのでそれを使って町長答弁との食い違いをチェックしている。

(委員の意見)

・一般質問は粗原稿と照らしたら原文のまま掲載している。

本市も取り組む課題と感じた。

・特集記事は今後本市でも取り組んでいきたい。

視察先

福岡県大刀洗町

調査箇所

大刀洗町は、フルカラー化しており、

色については明るい色を使うが色みを抑えている事と、バックに白を使い、見やすい紙面になっている。

議会モニターを無償で8人お願し、

議会傍聴など行っていた。定例会毎

に議連のメンバーとの懇談会を開き、意見をいただいている。

特集記事では、町民の声や新有権者の声を掲載している。

一般質問について

原稿は600字以内とし3人で2ページ

の掲載となっている。

一般質問の議事録の粗原稿を本人に渡し、正確な原稿を出してもらっている。

(委員の意見)

一般質問の粗原稿を先に渡すことは効果的である。

どこの議会も一般質問原稿の添削、公正に悩んでおり、写真、イラストも本人に2枚提出している

ので、広報の仕事が

少し軽減できると感じた。

特集記事は町報と重ならないように、配慮していた。

広報委員会が常任委員会となっているが、仕事としては、量が多いようだ。

どこも広報は、なり手が厳しい現状だが、議会を振り返り、1番議会改革を行っているとの委員長

の言葉に、元気ももった。

その他にも沢山の質疑・意見等ありました。

